



## ● プログラムの目標

地球温暖化やエネルギー問題の情報を集め、様々な視点から自分の意見をまとめ、発言し、行動する態度を養います。学校及び家庭での身近な省エネルギーの方法の体験を通して、自ら実践する力、実践の結果等を他者に伝えるためのコミュニケーション力を育みます。エネルギー問題を地域の課題として捉え、活動している人のメッセージを受けて、「どんな工夫や選択ができるのだろう」など問いかけ、行動の変化と地域社会への参加意欲を高めます。日本におけるエネルギー事情や発電のしくみ、そのメリット・デメリットなどを学び、どのような供給源としくみが今後の日本社会に必要なかについて、批判的かつ多面的に考える力を育みます。



映像「どっちこっちゲーム」チャレンジ！



学校の太陽光パネルを紹介する先生



1年間の学習を発表

## ● 参加者の声

- 再生可能エネルギーは他県にどれくらい設置されているか、知りたい。
- 日本の自然を発電に生かせることを知った。
- 再生可能なものは再生して新しくして使いたいです。
- 僕も自分で電気をつくって生活してみたいと思った。

## • プログラムの流れ

1～2時間目	地球温暖化とエネルギー問題 新エネルギー・省エネルギーの実験と体験
3時間目	調べ学習 テーマ：温暖化、省エネ、新エネルギー、世界や日本のエネルギー事情など
4時間目	「家庭の省エネ」を考えてみよう (冬休み2週間実施)
5時間目	省エネ調査のふりかえり どっちこっちゲーム (電球編 電池編 車編 発電編) 再生可能エネルギーを知ろう 【映像①②③】再生可能エネルギーとは
6時間目	再生可能エネルギーを広めるためにできること 【映像④】長森南中学校の太陽光パネル グループワーク「みんなが出来ることはどんなこと」 地域の資源を活かしたエネルギー社会を考えよう 【映像⑤】石徹白の自然と小水力発電 エネルギーの未来のためにできること
7時間目	環境新聞をつくる